



ゆり北

第102号 (10期第6号)

発行・光が丘パークタウン

ゆりの木北自治会

東京都板橋区赤塚新町

3-32-4-403

電話 03 (3938) 9181番

発行責任者 吉 柳 俊 孝

第二回自治委員会

いきいきとしたまちは、 活発な活動から

一〇月四日、五号棟集会場において第二回自治委員会が開かれました。
夏まつりの収支報告及び各専門部の活動報告及び計画が説明されました。

(渉外活動報告)

- 一、二三区自治協総会に出席。
- 二、中学校問題で板橋区役所に訪問。
- 三、ゆりの木児童館・地域児童関係者懇談会に出席。
- 四、町会長・自治会長会議に出席。
- 五、板橋区・下赤塚地区防災訓練に参加。

(専門部活動報告)

厚生部

リサイクル部門

夏祭りには、昨年同様にリサイクルバザーを行いました。昨年と異なることは、古本以外に雑貨を扱ってみました。

古本……二二〇〇冊

(昨年三七六〇冊)

雑貨……三五〇点(アクセサリ、

小物、タオル、自転車他)

ゆり北会報一〇〇号発行おめでとうございます。

公報担当をおりてから、はや四年近くたちます。当時はいろいろなことがありましたが、皆なつかしい思い出です。女性ばかり四人の部員で主点においたことは、皆に読んでもらえるよう「親しみやすく、楽しいものを」ということで、子どもの絵をカットに使い、題字もやわらかな感じを出し、レイアウト的に見ても良いものがあつたと思います。

しかし、反省も含めて思うことです。が、本来は自治会の主要部分で

今、思っています

十四号棟 西 沢

いのではないでしようか。毎月会報を発行しながら、意気に燃えて取り組んでいる姿が会員に伝わらないのは実に勿体ないと思う。イベントの報告は派手だし発行するのも楽しいが、大事なものが忘れられているよ

由美子

ほしいと願います。
ゆり北会報のますますのご発展を心からお祈り申し上げます。
(ゆり北百号記念に寄稿していただきます。)

環境・防災部

九月十五日の敬老の日に、集会場において「長寿を祝う集い」を行いました。(参加者二七名)

ゆりの木会においては、毎週日曜日の早朝に赤塚新町公園通りをお掃除してもらっており、頭が下がる思いです。

厚生部門

九月十五日の敬老の日に、集会場において「長寿を祝う集い」を行いました。(参加者二七名)

これからの予定としては、自治会独自の防災訓練の実施(十一月八日、赤塚新町小学校予定)、年末パトロールの実施及び夜間照明施設の充実の働きかけを公団・管理組合に行う。

組織部

自治会加入率は、七九・五パー

うに思えてならない。一〇〇号記念を契機に一面二面にこだわらず、字数にこだわらない内容の充実を目指してほしいと思います。自治会活動から離れてみると会報だけが情報を求める手段であることがつくづくわかる。だからこそ

読み手に確かに伝わる字数をけずらない記事を書いてほしいと願います。

セントです。(九二年五月末と同じ)
引き続き、加入の促進に努めます。

住宅対策部

今年度中に「住宅補修の手引き」を作成するべき活動を行っております。

内容的には、誰にでもできる簡単な修理・修繕の方法や部品・器材の調達方法などをQ&A方式で解説する予定です。

(例)Q、トイレの水がとまらない。A、賃貸住宅の場合、修理・修繕の箇所によって負担区分(誰が費用を負担するかについての区分)があるようですが具体的に教えてください。

広報部

六月号からのせている「ペットについて、集合住宅への適合」はかなりの反響で、広報部としてはうれしいかぎりです。

引き続き会員の討論が白熱する話題の提供を念頭において、定期発行に努めます。

(質疑応答)

Q 不法駐車について警告書を貼る方法以外に考えていないのですか？
A 悪質な駐車については、広報

紙で発表することも考えている。
Q 一時訪問者のパーキングエリアをつくってもらいたいのですか？
A 光が丘では、ある自治会では来客用の駐車スペースを確保して行っている。先ず二、三日前に自治会発行の駐車券を購入してから当日駐車をすることになる。

Q 川越街道から光が丘公園までの区間にパーキングメーターをつけてもらいたい。理由としては？
A 夜間の駐車が多い。

(2) 大型トラックが止まっている。
A 関係機関と調整をしてみます。
Q 補修の手引きの中で概算の金額を入れてもらえないでしょうか？
A 努力いたします。

Q 夏まつりの中で協賛金はどうしているのか？
A 夏まつりの収入に繰り入れていきます。

Q 夏まつりの最後の片付けは、非常にたいへんでした。もつと多数参加してもらえば早く終わるのですが？
A 多数の人の協力をお願いします。

夏まつり・決算報告

(1) まつり本部会計		
収入	自治会負担金	300,000
	商店会負担金	600,000
	お祭り寄金・協賛金	393,000
	前年度繰越	120,891
	計	1,413,891
支出	イベント経費	303,450
	テーブル・椅子	74,675
	会場設営・宣伝経費	321,996
	実行委員ユニホーム	187,500
	実行委員など飲物費	163,984
	事務費	25,427
	反省会	40,103
	計	1,117,135
	残額(次年度繰越)	296,756
(2) お楽しみコーナー会計		
収入	売上げ	626,820
支出	仕入れ	307,458
	実行委員食事代	74,150
	準備金	36,665
	老人会寄付	40,000
	計	458,273
	残額(周年事業会計積立)	168,547
(3) 自治会お楽しみ券会計		
収入	(回数)	146,850
支出	(回数)	81.5%

水原三喜蔵・つたさん 金婚おめでとう



十号棟四〇五号にお住まいの水原三喜蔵さん(七七歳)・つたさん(七一歳)のご夫婦は今年結婚五十年をむかえ、板橋区から金婚の祝を贈られました。おめでとうございます。

去る九月十五日、ゆり北長寿を祝う集いでお二人にインタビューをしました。

編 ご結婚はいつでしたか。

三 昭和十七年、文京区の音羽で自転車屋をやっていました。二十七日でした。

つ 私は、静岡県の農家の娘でした。結婚式の二月一日は大雪で大変でした。

編 五十年間でいちはん思い出となった、良いこと・悪いことはなんですか。

ペットの飼育規則の是非について、四回にわたって投稿を掲載しました。今回は今後の発展のために問題点を整理したいと思います。

今までのなかでは、飼育禁止を訴える声が多く、ルール化によって適切な飼育を認めようという傾向です。

住都公団や管理組合に寄せられている苦情を具体的に検証して、ルール化できるものか、その内容はどうするかを詰めてみたいと思います。

東京都の動物保護管理審議会の答申なども参考にしています。このなかでもペットの苦情の半数以上が、①放し飼いの犬、②捨て犬、捨て猫になっていきます。(別表)

二番目にルール化する場合の手続きについてです。この団地は、分譲・賃貸の二つの管理形態があります。分譲においては、管理組合に「共同生活の秩序維持に関する協定」があ

つ 良かったことは、子ども達が親思いに育ってくれたことかしら。

三 良かったことネー、あまりなかったネー、まあ軍隊から無事で帰ってこれたことかな、そう初孫が生まれた時。

つ 主人がおひとよしで、だまされて苦労したわネ。

三 そうそう、昭和二十八年頃、二百万円貸して踏み倒されたことがいちはん悪い思い出だヨ。

編 五十年長続した秘訣を教えてください。

三 親せき同志だったから、廻りが許してくれないヨ、別れるなんて。良くて、悪くても、主人について来られたからヨ、苦しい時も一緒に乗り越えられたネ。

編 これからなにをされますか。

三 家内と一緒に旅行を沢山して、余生を楽しみたいネ。

つ 五〇歳過ぎてから働きに出て、まだ現役ですよ、頑張らなくちゃネ。

環境の良い板橋に住んでしあわせです。

編 どうも有難うございました。これからもお元気で、仲良くお暮らしてください。



すでに「飼育規則」を実施しているマンションもかなり出ています。

本屋さんの店頭には「マンション管理トラブル解決事例シリーズ・ペット飼育編」という本もならんでいるくらいです。

このなかで紹介されている例では、①J.R.など交通機関への持込みが許

ペットの飼育(中間のまとめ) 集合住宅への適合

徹底した論議が求められます。

一方賃貸では、家主としての住都公団が管理規定を改正すれば良いのですが、一団地に限っての改正は考えられませんから、全体の問題として、営業所→東京支社→本社と伺いをたてることになりそうで、かなりの時間を覚悟しなければなりません。

ゆり北長寿を祝う集い

九月十五日「敬老の日」に、赤塚新町・光が丘集会所で恒例の自治会主催の「ゆり北長寿を祝う集い」が開かれました。常日頃より自治会活動に協力してくださる「ゆりの木会」を中心に二十七名の六十五歳以上の方々が出席しました。

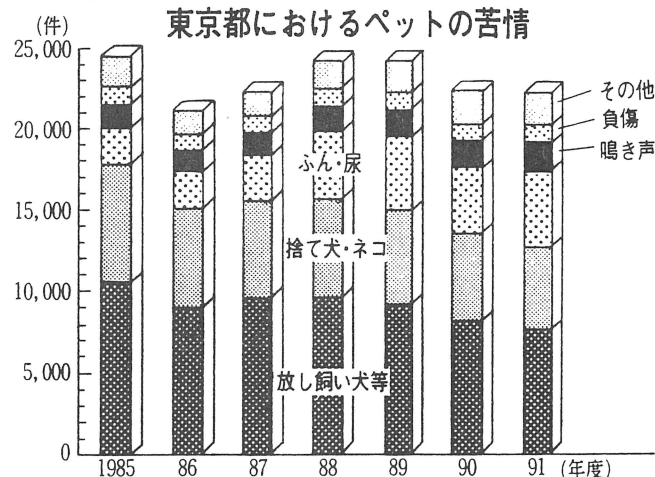
昨までは、女性群におされがちな集まりでしたが、今年度は新たに三名の男性も加わり、また一段とにぎやかでした。

ひさしぶりに、顔を合わせた人には、「生きてたの・・・」との温かい声も掛かったりして、和気あいあいの雰囲気会が始まりました。

まず吉柳自治会会長の挨拶、衣装も本格的な「白鷺の舞」の披露、ゆりの木会会長よりゆりの木会勧誘の

して考える動物の取り扱いについても検討が必要でしょう。

これらを踏まえて、更に討論を重ねたいと思います。具体的で前向きな投稿をお待ちしております。



挨拶、ハーモニカ演奏付きの「植生の宿」「むら祭り」などの全員での合唱に引き続き、「演歌の帝王」「演歌の女王」などなどのからおけ大会、また歌に合わせての踊り(フォークダンス?)はてには「かとおちゃん、けんちゃん」でお馴染みの「好きになった人」のダンスなどなど楽しかったです。また、歌、踊りに参加しない人達は、あちらこちらで、話しの輪ができて、三時間があっという間にすぎ、「ゆりの木の人達は皆暖かい心の持ち主ですネ」の言葉で会を無事締められました。

今年、都合で出席できなかった人、また今回出席していただいた人の来年の参加を楽しみに待っています。

浅草生れの私が、震災に追われて宇都宮で過ごした二年間は、思い出に残る本当に楽しい日々でした。

宇都宮と言っても私の居りました所は、街のはずれ、前は八幡山と言う小高い丘、裏は一面の田畑でまだトテ馬車が通って居た頃です。

貧乏のどん底にあって、三度の食事満足に取れなかったが、四季を通じてあの様に思い出に残る日々は、ありません。

初午の日には、近所のお稲荷さんをまつてある家でオヤツを貰い、一日中遊ばせてもらったり、釣りに行った帰りに釣り針の先にミミズを付けて農家の庭先に遊んで居るニワトリに食べさせ大騒ぎされて飛んで帰ったり、柿の木になって居る柿を盗んで怒鳴られてあわてて飛んで帰ったり、秋の日曜日には近所のおばさん達と連れ立ってイナゴ取りに行き、

十五夜



大きな袋に一杯取って来てそれを佃煮にして食べたり、いろいろと楽しい思い出が沢山ありました。

秋の十五夜の晩に近くの農家に行つて、神棚に飾るゴボイメの様なワラの棒を作ってもらい、十人位組んで十五夜のお供え物が供えてある家の前で、其のワラ棒で地面をたたきながら「ゴボイメ渡れ三角ボーゴボイメ渡れ」なんて訳のわからない唄を唄いはやすと、其の家からお菓子や果物を沢山いただき一廻りすると、かかえきれない程の量になり、それを餓鬼大将が等分に分けてくれ、弟や妹と分けあって楽しく食べたものです。

今ではビル化した東京では、其の様な十五夜のお供えをする家もなくなり、十五夜の行事も知らない世代になって本当に淋しくなりました。

五号棟 九〇二 村上 行夫

ゆり北文化展 予告

日時 11月22・23日
会場 赤塚新町小体育館
絵画・写真・工芸・手芸・映像・生花・盆栽などなんでもゴミアート、子ども出品も歓迎します。

